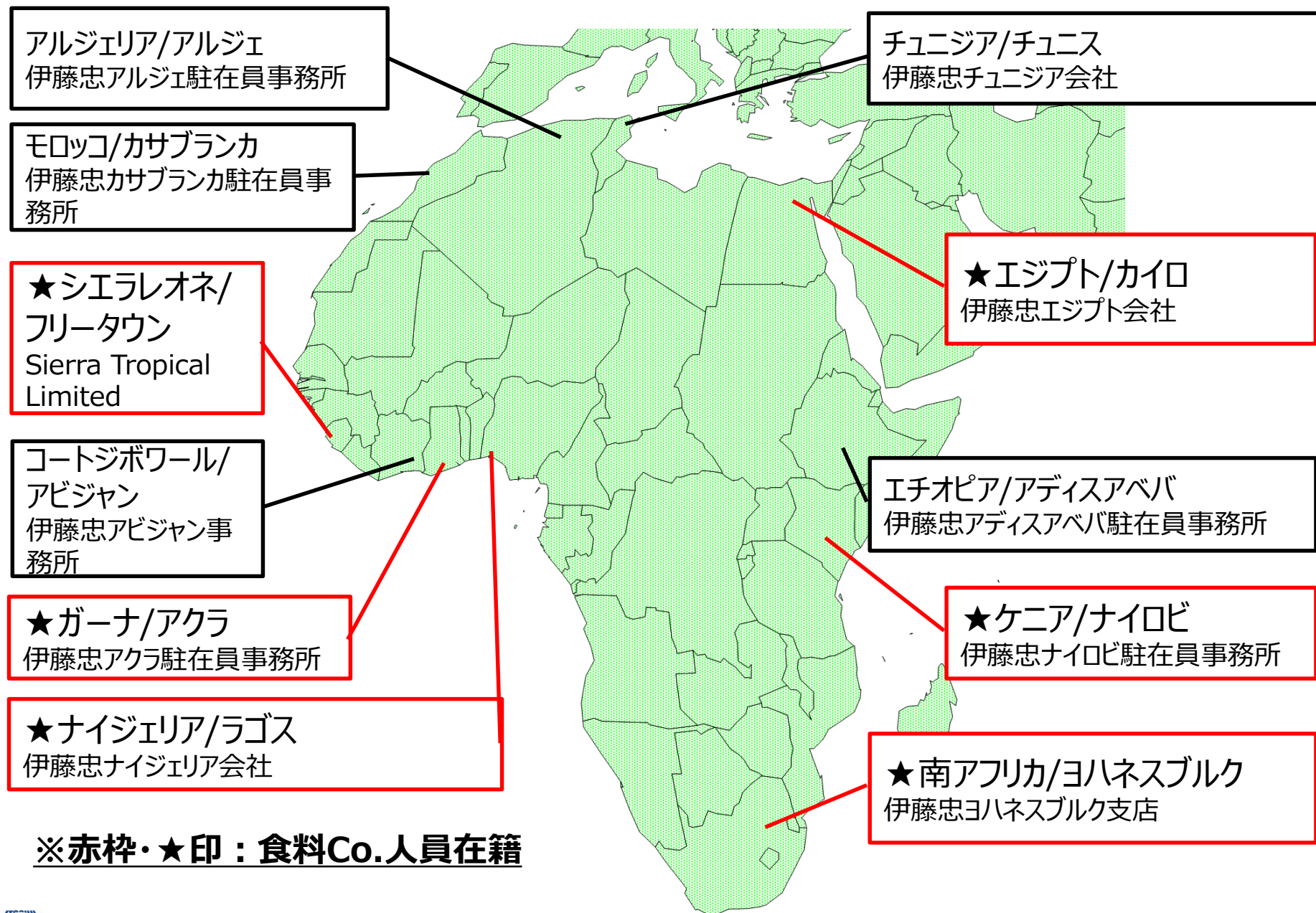


ゴマの調達とODA事業と連携した コミュニティの生計向上対策

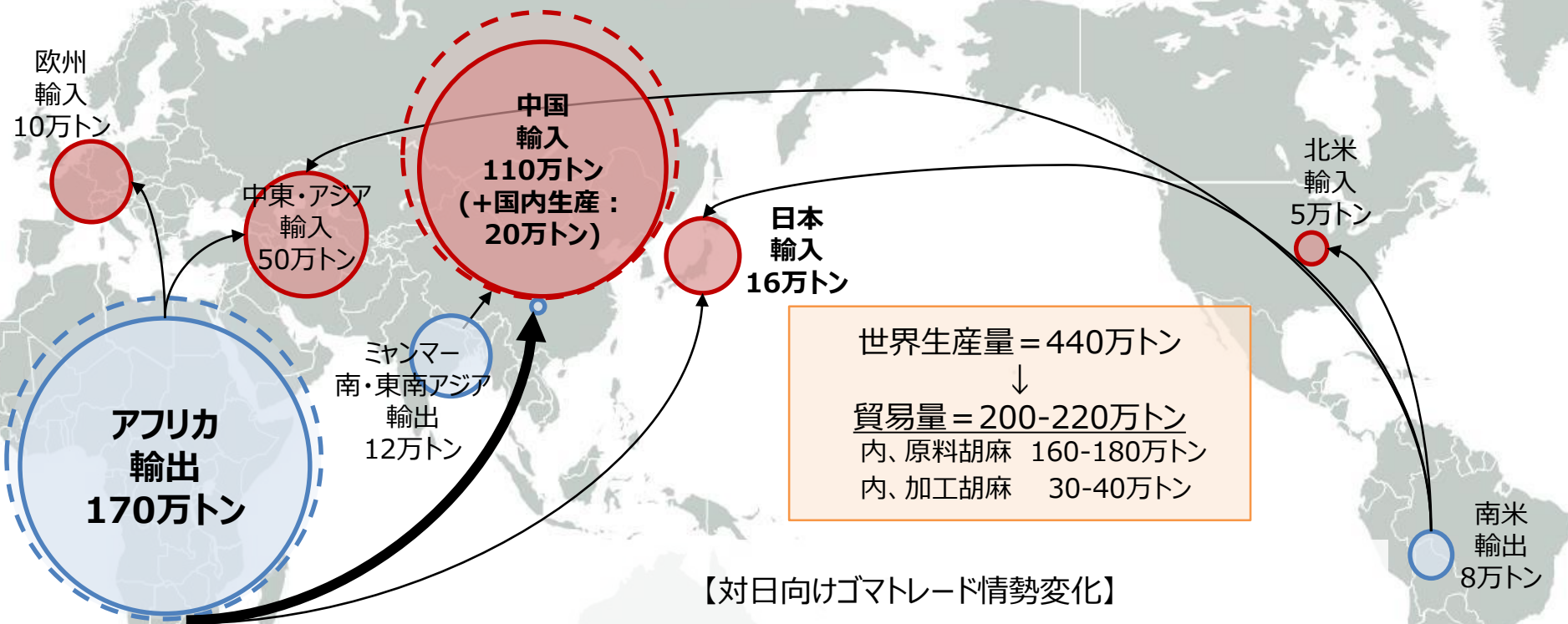
2022年2月10日(木)
伊藤忠商事株式会社
食料カンパニー 食糧部門
油脂・カカオ部
カカオ・ゴマ課

伊藤忠のアフリカ拠点/食料Co.駐在員



世界の原料胡麻受給チャート

- ✓ 中国は経済発展に伴い輸出国から最大輸入国へ転換
- ✓ 中東・欧州は胡麻食文化(外ニ)が広がりつつあり需要増加中
- ✓ 世界の需要増をアフリカ全体の生産増で補う

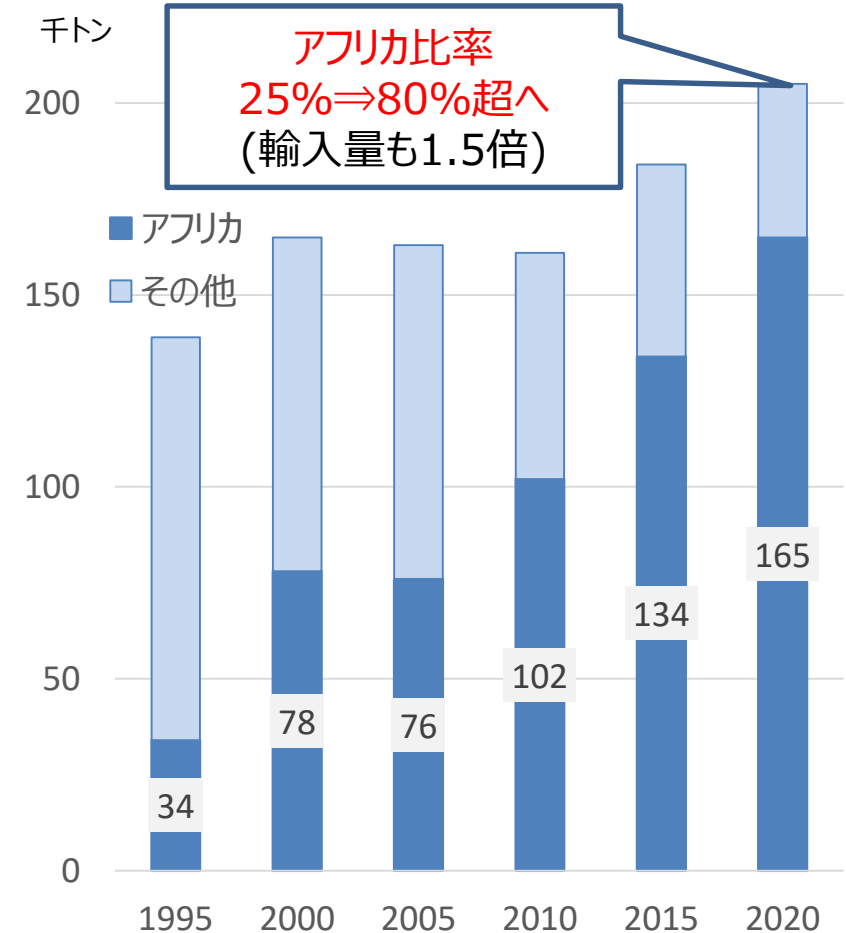


世界市場を支える産地

- ・農薬ポジティブ制度施行(2008年)⇒低リスク産地確保の必要性
- ・中国輸入増(2010年39万トン)⇒2021年117万トン
- ・ゴマ生産エリア確保難⇒競合となる太宗商品の価格高騰による作付減少

日本の輸入量(原産地域別推移)

- ✓ アフリカ諸国からの輸入割合が25%（1995年）から80%超に増加
- ✓ 国内のゴマ搾油量増加(内需拡大 + 輸出需要)
- ✓ 従来のアフリカ産 = 搾油品質のみとの位置づけから、食品用への品質向上



	1995	2000	2005	2010	2015	2020
合計(千mt)	139	165	163	161	184	205
アフリカ率	24.5%	47.3%	46.6%	63.4%	72.8%	80.5%

(Unit:mt)	2020
ナイジェリア	76,208
ブルキナファソ	25,925
タンザニア	18,296
モザンビーク	15,585
パラグアイ	15,019
エチオピア	11,419
ミャンマー	6,206
グアテマラ	6,116
ソマリア	3,850
トーゴ	3,088
マリ	2,957
エジプト	2,873
メキシコ	2,454
ニカラグア	2,102
ボリビア	2,087
スーダン	2,042
マラウイ	2,005
その他	6,632
合計	204,864

【2020年実績】

- ・主要産地上位10か国の内、7か国がアフリカ。
- ・全30か国から輸入されており、アフリカ地域は13か国から輸入。
(左記11か国 + セネガル、ニジェール)
- ・無農薬無肥料での栽培が可能であるものの、収穫/脱穀などで人手を要するという特性から栽培地域が途上国であるケースが多く、アフリカへの依存度増。
- ・各国での生産量が限定的であるため、安定供給に向けたヘッジ策として多産地化を推進せざるを得ない状況。

産地における伝統的な胡麻集荷システム

- ✓ 小規模農家による伝統的農法
- ✓ 産地側での小規模集荷から輸出用製品化までの集荷網

農家



集荷拠点
(集落、産地)



集荷拠点
(地方)

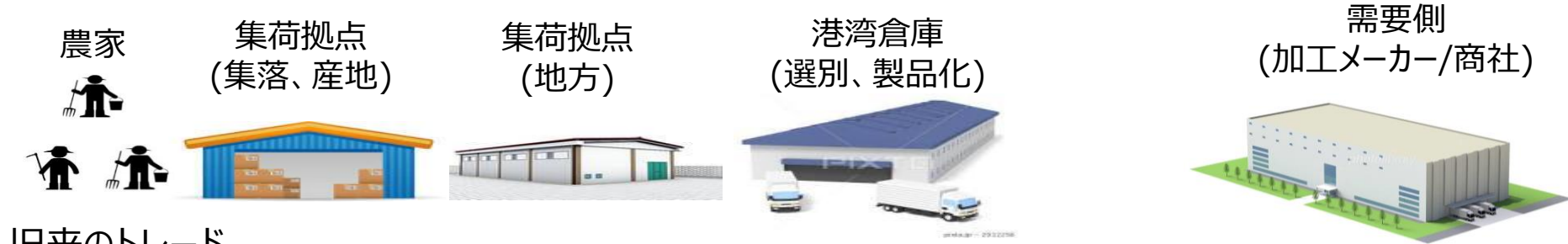


港湾倉庫
(選別、製品化)

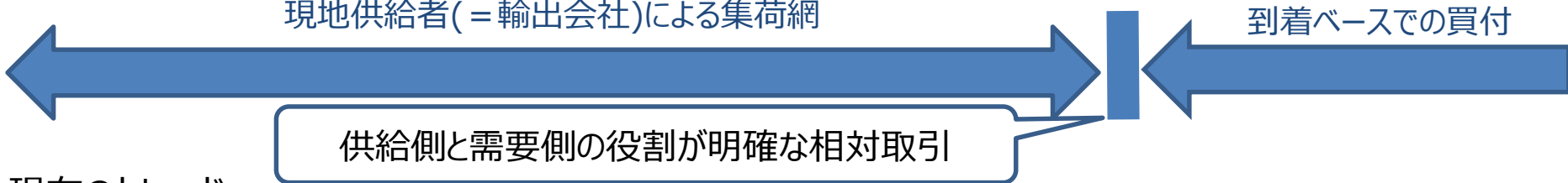


取引形態の多様化と安定調達に向けた対策

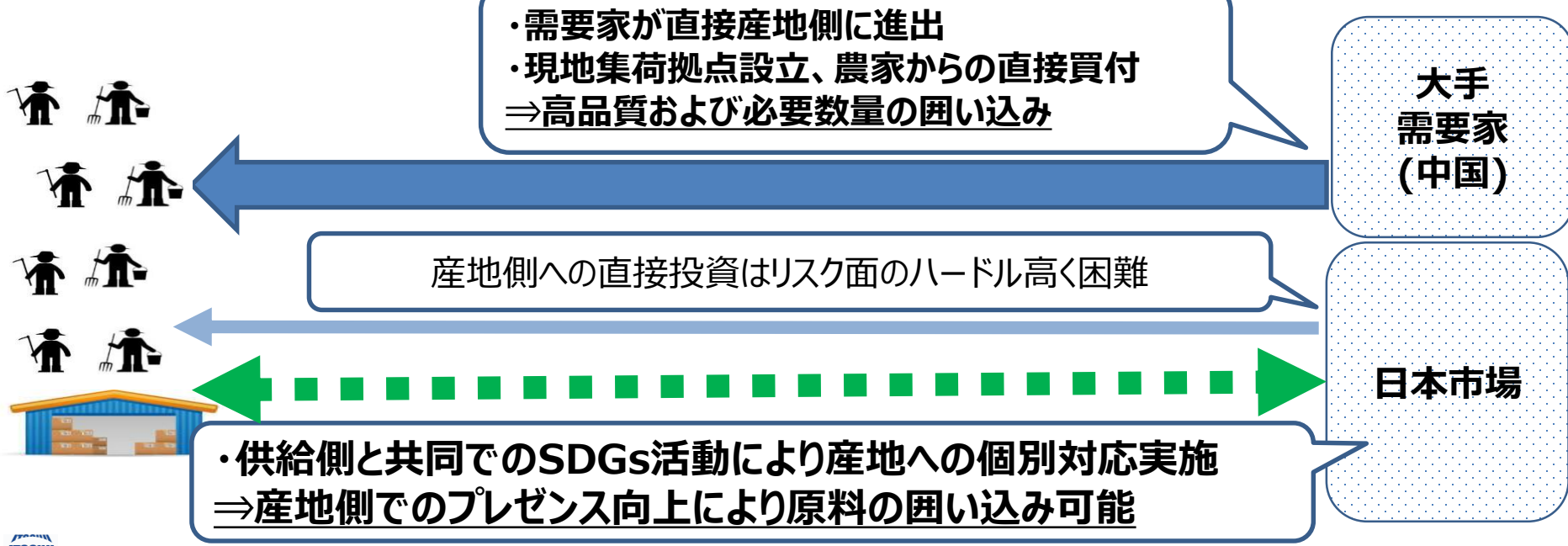
ゴマトレードのステークホルダー



旧来のトレード



現在のトレード



マラウイにおけるSDGsプロジェクト

マラウイ共和国 (Republic of Malawi)



面積：11.8万平方キロメートル

(日本の約1/3、国土の20%が湖)

人口：1,862万人 (2019年：世銀)

首都：リロングウェ *第2の都市は南部のブランタイヤ

言語：チェワ語、英語 (以上公用語)

宗教：キリスト教 約75%

GDP：76.67億米ドル (2019年：世銀)

GNI：一人当たり380米ドル (2019年：世銀) *下から2番目

メモ：

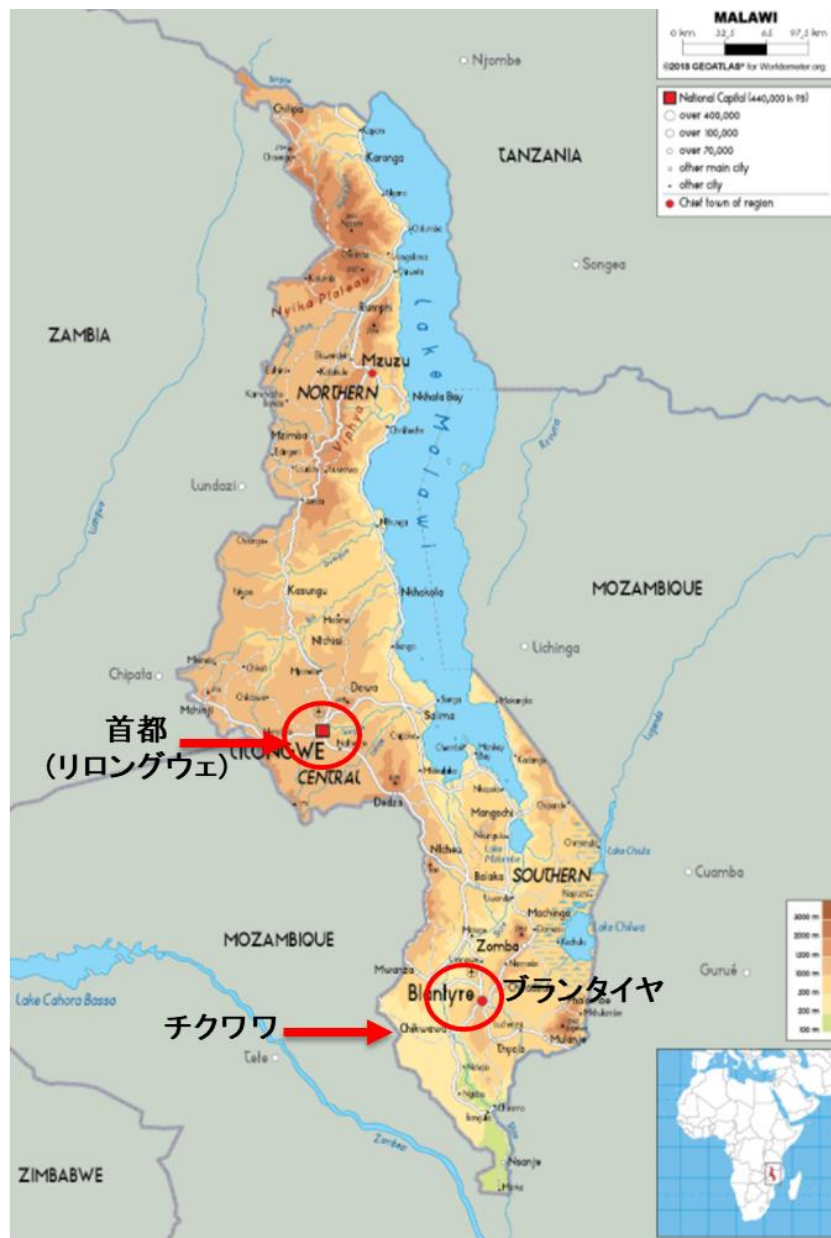
- ・イギリス連邦加盟国。
- ・独立以降、対外戦争や内戦を経験していない

別称“The Warm Heart of Africa” (アフリカの温かい心)

- ・主要産業は農業で人口の8割強が第一次産業に従事。

プロジェクト候補地 = 胡麻産地

チクワワ -ブランタイヤより車で約1時間半



マラウイにおけるSDGsプロジェクト

チクワワ県テレ・ヘルスセンター建設計画（日本大使館とのコラボレーション）



【プロジェクト概要】

医療へのアクセスに困窮する同地域に、日本大使館が草の根無償援助を通じて産科と一般外来を備えるヘルスセンターを建設し、同地域 6 村の住民 12,000 人への医療サービスを可能にする予定。同プロジェクトで不十分な設備を提供する。

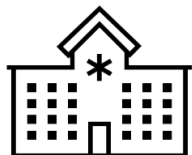
取組国/地域：マラウイ（チクワワ地方）

取組パートナー：竹本油脂、日本大使館、Gift of The Givers 財団、マラウイ政府、現地輸出会社

取組内容：救急車両の提供 ランドクルーザー

大使館及びマラウイ政府の支援内容（下記 A～E が今回支援される予定。被供与団体：Gift of the Givers 財団）

A ヘルスセンター



日本政府
(草の根供与金)

B 井戸の建設



現地対応

C 医療器機の設置



マラウイ保健相および
マンガチ県保健局

D 医療従事者の派遣



マンガチ県保健局

E 医療従事者の住宅



現地対応

- ・今回のヘルスセンターに付随する必要な設備としてニーズの強かった救急車両の提供を決定。
- ・車両のメンテナンスや輸送費は被供与団体（Gift of the Givers）が負担
- ・本案件を第一フェーズとし、第二フェーズ以降も関連プログラムを構築予定



マラウイにおけるSDGsプロジェクト

現地状況(2019年5月訪問時、チクワワ地域)



農家との意見交換会(学校にて)



ヘルスセンター近況

